

## 様式 C - 7 - 1 【作成上の注意】

- (1) 用紙は、所定の様式を使用すること。  
なお、1枚の用紙の表裏に印刷したものを1部作成し提出すること。
- (2) この報告書はデータベース化し、国立情報学研究所において大学の研究者等の情報検索サービスに供しているものである。
- (3) 今年度の研究成果が特許等と関連がある場合には十分留意の上作成し、特に公表を見合わせる必要がある場合には、次の事項を記載した調書（A4判縦長横書1枚）を作成し、本紙（様式C-7-1）の下に重ねて左肩をホッチキスでとめること。

研究種目

課題番号

研究課題名

研究代表者の所属、職、氏名

研究分担者の所属、職、氏名

特許等との関連と公表を見合わせる必要がある理由

公表差し控え期間

- (4) 「機関番号」欄について  
研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）を記入すること。
- (5) 「研究機関名」欄について  
研究代表者の所属する研究機関名を記入すること。
- (6) 「研究種目名」欄について  
該当する研究種目名を正確に記入すること。  
例．基盤研究（A）、基盤研究（C）等
- (7) 「研究期間」欄について  
当該研究課題の開始年度及び終了予定年度（研究を廃止した場合は、当該廃止年度）を記入すること。
- (8) 「課題番号」欄について  
科学研究費補助金の交付決定一覧に記載された課題番号（8桁）を記入すること。  
「特別研究員奨励費」の場合は、「課題番号」欄には内定一覧に記載された「採用年度・受付番号」を右詰で記入すること。

（例）・平成16年度の採用の特別研究員で受付番号が1234の場合

┌───┐  
│16┆┆┆1234┆  
└───┘

・平成16年度の採用の外国人特別研究員で受付番号が01234の場合

┌───┐  
│16┆┆┆01234┆  
└───┘

注）外国人特別研究員のみ受付番号の一桁目に「0」がつく。

- (9) 「研究課題名」欄について  
交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。
- (10) 「研究代表者」及び「研究分担者」欄について  
（研究代表者について）
  - 1) 研究代表者1人を記入すること。  
ただし、研究組織の変更により、研究代表者を交替している場合は、交替後の研究代表者名を記入すること。

- 2) 研究者番号  
さきに文部科学省から通知された科学研究費補助金に係る研究者番号（8桁）を記入すること。
  - 3) 研究代表者名、所属部局名及び職名  
研究代表者名は、姓と名の間はカンマ（ , ）で区切って記入すること。所属部局名（略称可）及び職名は実績報告書作成時又は平成19年3月31日のいずれが早い時点での所属部局及び職名を記入すること。
- （研究分担者について）
- 1) 研究分担者のうち、主な者を5人以内で記入すること。
  - 2) 研究協力者（海外共同研究者を含む。）は記入しないこと。
  - 3) 研究者番号  
さきに、文部科学省から通知された科学研究費補助金に係る研究者番号（8桁）を記入すること。
  - 4) 研究分担者名、所属研究機関名・部局名及び職名  
研究分担者名は姓と名の間はカンマ（ , ）で区切って記入し、所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。所属部局名（略称可）、職名については必ず記入すること。年度の途中において分担部分を終了した後に所属する研究機関を変更した研究分担者については、分担部分終了時点（所属研究機関変更前）の研究機関名、部局名及び職名を記入すること。

「特別研究員奨励費」の場合には、「研究代表者」及び「研究分担者」欄は以下のとおり記入すること。

（研究代表者について）

1) 「研究代表者」欄について

特別研究員の場合は、特別研究員本人を記入すること。

外国人特別研究員の場合は、外国人特別研究員の「受入研究者」を記入すること。

2) 研究者番号

外国人特別研究員の受入研究者のみ記入すること。

3) 氏名、所属部局及び職名

姓と名の間はカンマ（ , ）で区切って記入すること。所属部局名については、特別研究員（PD、SPD）の場合は研究を行う研究室が属する学部・研究所等の名称、特別研究員（DC1、DC2）の場合は在籍する研究科名（略称可）を記入すること。

職名については、特別研究員の場合は「特別研究員（PD）」、「特別研究員（SPD）」、「特別研究員（DC1）」、「特別研究員（DC2）」と記入すること。

（研究分担者について）

1) 外国人特別研究員をアルファベットで記入すること。

2) 研究者番号

記入しないこと。

3) 氏名、所属研究機関名・部局名及び職名

姓と名の間はカンマ（ , ）で区切って記入すること。所属研究機関名については、外国人特別研究員が研究に従事する研究機関の名称、部局名については、外国人特別研究員が研究を行う研究室が属する学部、研究所等の名称を記入すること。

職名については、「外国人特別研究員」と記入すること。

(11) 「研究実績の概要」欄について

本年度（補助金が交付されてきた期間を含む）に行った研究によって得られた新たな知見等の成果を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「本年度の研究実施計画」に対応させて800字以内（600字～800字）でわかりやすく記載すること。

なお、特に必要な場合には、今後の研究の展開に関する計画等についても記載して差し支えない。

文章に番号を付して整理する場合は、1、2、3、・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は、(1)、(2)、・・・の順に使用すること。

また、記載はマス目を作成して記入しても構わないほか、横50字×縦12～16行でワードプロセッサ等により浄書をしたものを貼り付け、複写したものを使用しても差し支えない。

本様式をもってデータ入力を行いデータベース化しているため、記載は楷書で丁寧に行うこと。また、図、グラフ等文章化できないものについては、データベース化の際支障をきたすので記載しないこと。

(12) 「キーワード」欄について

ここでいう「キーワード」とは、大量の研究成果情報の中から特定の研究上の問題に密接に関連する研究成果をコンピュータにより検索する際の手段として利用される語のことをいう。この欄には、当該研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを8項目以内で記入すること。また、化学式、数式等の使用は極力避けること。

なお、国外の特定地域や研究機関における調査研究あるいは、国外の研究者との共同研究のうち、次の形態で行う研究についてはそれぞれ該当するキーワードを記入するとともに、その対象となる国名または地域名を記入すること。

研究者の派遣または招へいを伴う研究・・・「国際研究者交流」

上記以外で、国外の研究機関または

研究者との情報交換により行う研究・・・「国際情報交換」

(例)

研 究 課 題	キ ー ワ ー ド
ア 高温超伝導体の光電子分光による研究	(1)酸化物高温超伝導体 (2)角度分解光電子分光 (3)フェルミ液体
イ 筋収縮に關与する細胞内カルシウムイオン遊離機構の分子生物学的解析	(1)筋収縮(2)カルシウムイオン (3)分子生物学
ウ 東南アジア諸民族の歴史・文化に關する研究	(1)国際研究者交流(2)多国籍 (3)民族誌(4)データベース (5)文化人類学
エ ヨーロッパにおける古文書の研究	(1)中世史(2)史料学(3)古文書学 (4)データベース(5)国際情報交換 (6)イギリス：フランス：ドイツ

〔 国が複数の場合は、5カ国までは国名の間「：」を入れ、5カ国を超える場合は多国籍と記入すること。 〕

(13) 「研究発表」欄について

この研究によって得られた研究成果を発表した雑誌論文(当該補助事業期間中の研究成果)の著者(第一著者)名、論文標題、雑誌名(大学の研究紀要等を含む。)巻・号、発行年(西暦)及びページを記入すること。また、図書については、著者(第一著者)名、出版社名、書名、発行年、総ページ数を記入すること。

また、研究成果を発表した雑誌論文数等を併せて記入すること。

なお、記入欄が不足する場合には、必要枚数を複写し記入(又は本様式を参考として作成した別紙に記入)のうえ糊付けすること。

(14) 「研究成果による工業所有権の出願・取得状況」欄について

この研究によって得られた研究成果で工業所有権(特許権、実用新案権、意匠権)を出願している(取得を含む)場合に本欄へ必要事項を記入すること。発明者と権利者名が同一である場合には、権利者名の欄には、「同左」と記入すること。

また、工業所有権の出願件数を併せて記入すること。

なお、記入欄が不足する場合には、必要枚数を複写し記入(又は本様式を参考として作成した別紙に記入)のうえ糊付けすること。